

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所



第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

第1731回例会 令和8年6月9日(火)

【会長の時間】

畝 徳治



戦前の

日本のロータリーの終焉

米山の切実な願い、芝の血の出るような折衝で、完全とまではいえないにしても、とにかくかちえた日満連合委員会という日本のロータリーであった。しかし、時流は、濁流となって、1年余りで、この日本のロータリーを押し流してしまった。

軍や極端な体制は、東京クラブの会員で貴族院議員である松井茂が貴族院で政府の見解をただし、日本に役立つものであるという答えを引き出しても、そんなことをものともしなかった。世論を自負する新聞の論調もいわばロータリーを袋だたきにするかのような書き方であった。地方の小さなクラブでは、とても押し止めるような流れではなかった。バラバラと落伍が出て、これが瞬く間に広がった。米山を中心とする日満連合委員会の幹部が鳩首会議をはじめても、とてもとどめることはできなかった。

東京クラブは、昭和15年9月11日、例会について臨時休会として、議論した。米山は、腹をくくっていたのであろう。解散やむなしと。議論もつきて、クラブは解散を決議した。

米山は、苦悩にみちた表情で、重い足を引きずるようにして、壇上に立った。

「私は、こんなつらい気持ちで話をしなければならぬのは、20年来はじめてである。近藤（次繁つぎしげ）博士の美しい熱のこもった言葉に対しては何とお答へしてよいであらうか。私は、ただかかる始末になったことをお詫びしたい。しかし、我々とても時の流れに対して徒に手を拱いておつたのではない。日満ロータリー設立の如きもその現れである。

しかし、時代の流れは余りに急激であった。取るべき途は三つしかない。最後迄ロータリークラブを守り通すか、潔く全て解体してしまうか、国家単位の新し会を組織し、ロータリーの精神を継承するか。インターナショナルの精神は、新しい組織においても絶対こ

れを残すべきであると信ずる。奉仕の理想、職業を通しての奉仕、社会への奉仕、これらなくしては、新しい組織も存立の意味をなさない。

米山は、日本のロータリーの幕を引いた後、ときに東京水曜会の例会に出席することがあった。最後に出席したのは、昭和20年12月の夜の家族会であったという。

そうして、自分の奉仕の最後の仕上げ、緑岡小学校の子供達の生長を見守りながら、やがて病がちとなり、長泉町の別邸に引きこもることが多くなった。空襲が激しくなると、子供達をより目の届くところにと伊豆の湯ヶ島に疎開させる。戦禍は、それをも許すことなく、子供達は、遠い青森に移る。米山は、戦争の終わった後の昭和21年4月28日、長泉町の別邸で、この世を去る。

【秩父RC会長】

高畑 泰寿様

皆さん、こんばんは。本日は皆野・長瀬ロータリークラブの皆様にはお越しいただきまして、ありがとうございます。合同例会が年に一度になり、寂しいのですが。皆野・長瀬ロータリークラブの皆様とはお会いする機会もありますので、今後もこの関係を長く続けられるようお願いいたします。



6月9日は私の結婚記念日です。35年になります。家内に6月9日の夜は空いているかと連絡して、ロータリーの関係でと言ったら、結婚記念日なので食事に誘われるのかと思ったと。まあ、食事は食事だという事でした。クラブからお祝いをいただき、ありがとうございました。あと15年で金婚式なので、言うことを聞きながら頑張りたいと思います。

今日は合同例会という事で、これで終わりにさせていただきます。



【幹事報告】

山田 利明



皆さん、こんばんは。皆野としての幹事報告は特にございません。秩父の幹事報告を参考にしたいと思います。

次の25日の最終例会は昼間の例会になります。

よろしく願いいたします。

【秩父RC】

関口 光英様



1. 地区事務所より
ジェニファージョーンズTRF管理委員長ご来日によるロータリー財団フォーラム・管理委員長ご夫妻歓迎会の案内
2. 秩父手をつなぐ育成会チャリティーコンサート開催にともなう後援の依頼



乾杯



秩父RC 矢尾 直秀会員



一のめ



秩父RC 山根 益男会員



二のめ



山田 利明会員



三のめ



秩父RC 若林 俊明会員